

技術部報告集発刊に寄せて

技術部長 佐藤 一彦

教室系技術職員の職務は、教育・研究の進展に伴って年々高度化・専門化してきています。したがって大学における教育・研究を継続的に発展させるには、教室系技術職員がその能力・資質等の向上をはかり、充実した教育・研究の支援体制を確立することが重要となっています。このような背景のもので本学に教室系技術職員の組織として技術部が置かれてから2年が経過しました。

技術部の発足と同時に、長年技術職員が希望していた技術研修の道が開かれました。これには、自らの旅費の一部を技術職員の研修旅費として留保するという、教官の理解と協力が大きく与かっていることは言うまでもありません。技術研修への参加者は、この2年間で道内17名、道外15名を数えております。またこれとは別に、学内で技術職員を対象とした3日間にわたる一般研修も行なわれ、昨年度と本年度でほぼ全員が研修を終えています。来年度からはこのほかに学内での専門研修が加わることになっています。

研修の充実とともに特筆すべきことは、研修ならびに技術報告会が定期的開催され、その内容を収録した技術報告集が刊行されるに至ったことです。報告会では、学外で講習会や学協会に参加して研修した内容や、教官に協力して試作した教育・研究実験用の設備・機器の開発経過、あるいは研究実験における計測・分析・データ処理等を通じて得られた研究成果が報告され、報告集はそれらの内容をまとめてあります。

プログラムによれば、本年度の報告会では4件の技術報告と、12件の研修報告が予定されています。また本報告集はそれらをすべて収録しています。昨年度は報告会の後、報告集がまとめられましたが、本年度は報告会が行なわれる当日までには報告集が印刷・製本されることになっております。学内各位には報告会を来聴され、ご助言を願っておりますが、もしそれが叶わない場合でも本報告集をご覧いただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

最後に、本報告集を刊行するにあたりご協力いただいた研究協力室の方をはじめ、すべての人々に感謝致します。